

# 教化委員会幹事会開催の報告

去る1月22日(土)午後2時より猶存寺(高月町布施)において、教化委員会幹事会を開催し2021年度組教化下半期事業の取り組みについて、協議しました。(写真)

組の教化事業はコロナ感染拡大のために中止が続いていますが、国や県等の指導がある場合は中止することとし、そうでない場合は、今後計画しています各事業について、実施を前提に準備を進めることを確認しました。予定している事業は下記のとおりです。

✦**教区指定門徒会研修会** 3月12日(土)14時 会場一明徳寺 講師 春近寛氏(14組・皆念寺)

✦**組婦人会同朋会** 3月5日(土)明楽寺 4月2日(土)充滿寺 5月10日(火)立圓寺  
いずれも午前9時30分 講師 西野健太郎氏(充滿寺)

✦**びっくりに仰天講座** 3月26日(土)19時 会場一木之本スティックホール  
講師 難波教行氏(大谷大学非常勤講師) 講題「なぜ葬式は必要？」

✦**育成員研修会(第23組・敦賀組合同)** 4月3日(日)13時 会場一来入寺

✦**聞法の集い** 4月23日(土)19時  
会場一木之本スティックホール  
講師 中山善雄氏(教学研究員)

✦**同朋大会** 6月12日(日)13時  
会場一木之本スティックホール

**合唱団「山河サンガ」創立5周年記念演奏会**を一緒に開催します。テーマ「寺を共に創る」どの事業もコロナ感染状況によって計画変更の可能性がありますが、開催できる事業には積極的にご参加いただきますようお願いいたします。詳細については、各お寺にお知らせします。



## 第4回門徒戸数調査の説明会が開催される

去る1月15日(土)午後2時から、充滿寺(高月町西野)において第4回門徒戸数調査の説明会が開催されました。(写真)

組内から住職並びに門徒代表者が約40名出席されました。高橋組副組長の司会の下、真宗宗歌斉唱の後、宮戸長浜教務所長の挨拶がありました。

この調査は、別院及び普通寺院・教会に関係する門徒戸数の推移を宗門が的確に把握するとともに、宗門の財政基盤の確保並びに効果的な教化施策の展開を可能ならしめ、同朋会運動の推進に資することを目的としたものです。

第1回は2007年(門徒戸数調査実施規程・達令公示第3号)に始まり、5年ごとに2012年、2017年と続き、今回第4回目の実施となりました。各寺から2月15日までに提出された調査票は、

教区門徒戸数調査委員会でまとめられ、中央門徒戸数調査委員会で集約し、その結果は全国各教区に対する割当基準算出の重要要素として使用されます。

各教区における割当基準は教区の諸機関の審議を経て、教区会・教区門徒会で決定されます。

結果については、管内月報で公開されます。

説明会では、詳細について藤井長浜教務所主計から説明があり、質疑応答の時間が設けられました。

参加者からは「門徒の定義」などの質問がありました。最後に記載上の注意事項が説明され、午後4



親の言うことは聞かぬ子も 親の真似はする

真宗大谷派 長浜教区 3・4月号

# 第24 広報

発行日  
2022年3月1日  
第206号  
発行責任者  
組長 熊野 俊史

## 宗祖親鸞聖人 御誕生八百五十年・立教開宗八百年 長浜教区 慶讃事業 帰敬式「おかみそり」のご案内

2023年3月から真宗本廟(京都・東本願寺)にて宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要がお勤めされるに先立ち、長浜教区では、本年5月22日(日)にお待ち受け大会が開催されます。その時に帰敬式「おかみそり」が執行されます。

帰敬式とは、仏・法・僧の三宝を依り処とし、仏弟子としてのお念仏の教えを生きてゆく名のりであり、真宗門徒としての人生の歩みを始める大切な儀式です。「法名」は、亡くなってから名のるものではなく、生きるための名のりであります。

このお待ち受け大会を機縁として、是非とも帰敬式を受式していただきたくご案内をいたします。既に2月15日から受付が始まっています。

### 【受式要項】

✦**日時** 2022年5月22日(日)午前9時30分~11時まで

✦**会場** 長浜別院(大通寺)本堂

✦**冥加金** 13,000円(20歳以下6,500円) 記念品があります

✦**募集人数** 50名(定員になり次第、申し込み受付は終了されます)

✦**申し込み期間** 2月15日(火)10時~3月25日(金)17時30分

✦**申し込み手順** 申込書(長浜教務所又はお寺にあります)に記入の上、冥加金を添えてお手次のお寺へお申し込みください。

✦**受式者には**、4月下旬に「受式案内」が郵送されます。

✦**「法名」には**、住職選定と本山選定がありますので、お手次寺の住職と必ずご相談ください。

✦**詳細についてのお問い合わせは**、長浜教務所(0749-62-0737)か、各寺にお願いいたします。



真宗大谷派 長浜教区第24組 ホームページ  
<http://nagahamakyoku24.main.jp>

明日ありと 思う心の仇桜 夜半に嵐の 吹かぬものは

# 教区・別院・各寺の行事紹介

\*届け出寺院のみ掲載

| 寺院  | 法座名     | 日時                  | 法話者    |
|-----|---------|---------------------|--------|
| 浄教寺 | 六條講・彼岸会 | 3月21日(月) 13時30分・17時 | 住職     |
| 了覚寺 | お彼岸法要   | 3月21日(月) 16時        |        |
| 教覚寺 | 相続講     | 3月20日(日) 9時30分      | 川那部恵龍氏 |
| 梅龍寺 | 永代経     | 3月27日(日) 10時        | 住職     |
| 妙覚寺 | 彼岸会     | 3月21日(月) 16時        | 住職     |
| 双林寺 | 永代経     | 3月5日(土) 11時         | 住職     |
| 猶存寺 | 永代経     | 4月10日(日) 10時        | 住職     |
| 報春寺 | 彼岸会・永代経 | 3月19日(土) 15時        | 住職     |
| 圓常寺 | 永代経     | 3月13日(日)            | 住職     |
| 来入寺 | 永代経     | 4月10日(日) 10時・13時    | 西野健太郎氏 |
| 明德寺 | 永代経     | 3月13日(日) 10時        | 前住職    |
| 誓海寺 | 永代経     | 3月5日(土) 10時         | 藤元武氏   |
|     | 彼岸会     | 3月21日(月) 13時        | 住職     |

## 五日会連続講座のご案内

【慶讃法要テーマ】南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう

- ★第1回 3月4日(金) 講題「ひととうまるる」**  
 講師 白山 勝久氏(東京教区・第5組西蓮寺)
- ★第2回 4月5日(火) 講題「何をもってか、出世の大事なりと知ることを得るとならば」**  
 講師 大橋 宏雄氏(三重教区・中勢1組浄願寺)
- ★第3回 6月6日(月) 講題「ただ念仏のみぞまことにておわします」**  
 講師 結柴 依子氏(奥羽教区・秋田県西組・浄専寺)

\*いずれも会場は五村別院本堂 午後2時より \*聴講料 500円

## 「共学研修院」公開講座

講師 黒田進氏(14組・満立寺)

\*第4回 4月22日(金) \*第5回 6月3日(金) 参加費無料  
 時間はいずれも午後7時から午後9時 会場—大谷会館講堂(長浜教務所)

## これからの仏事を考える学習会

講師 高山 崇氏(16組・圓乗寺)

\*日時 3月24日(木) 午後7時～午後9時30分 \*テーマ「葬儀式に学ぶ」  
 \*会場—大谷会館講堂 \*購読本—「浄土真宗の葬儀」 \*参加費—500円

ご参拝・ご出席いただく場合はマスクの着用をお願いします。  
 コロナ感染拡大の状況によっては、急遽中止される場合がありますので、  
 お問い合わせいただきご確認をお願いします。

一生懸命だと知恵が出る 中途半端だと愚痴が出る いい加減だと言いつけが出る

## 「彼岸会」の意味

東本願寺出版「真宗の仏事」より



お彼岸といえば、お寺参りやお墓参りで、墓地はいっせいに仏花で彩られます。先だっていかれた人を訪う季節なのでしょう。「訪う」という言葉は、古くは「弔う」「供養する」という意味を含んでいました。ですから、私たちにとっては彼岸は先だっていかれた人とのどこか懐かしい日々が思いおこされるひとときです。

もともと「彼岸」とは仏教の原語で「パーラミタ」、訳して「到彼岸」といいます。季節をあらわす名ではありません。生死の迷いの世界があるこの世の此岸に対し、その此岸を超えたさとりの世界を彼岸とあらわしています。すなわち、此の岸(私たちの世界)から彼の岸(仏様の世界・浄土)にわたるといふことであると教えられます。また、春分と秋分の日を中日として、前後3日の7日間を彼岸と呼ぶのは、この期間に彼岸会として法要が勤められたことからきていわれているといわれています。

法会としての彼岸会は、歴史書「日本後紀」に、806(大同元)年に諸国の国分寺の僧によってつとめられたとあり、平安時代の初期からはじまった日本独自の仏事だといわれています。

なぜこの法会が、夜と昼の時間が等しい時節につとめられ、彼岸会と称されたかについては次のような説があります。「仏説観無量寿経」において、いかにして浄土を観るのかということについて、「当に心を専らにして、念を一処に懸けて、西方を想うべし(中略)日没を見よ」と、いわゆる「日想観」が説かれています。この「日想観」について七高僧のお1人である善導大師が、「冬夏の良時を取らず、唯春秋の二際を取る。その日正東より出でて、直西に没す。弥陀仏国は、日没の処に当りて、直西に十萬億の刹を超過する、即ち是なり」といわれています。日想観を修するにあたっては春秋の太陽が真東から真西に没していく、その時の太陽のすがたを見ることによって浄土を想う、このことが春秋の彼岸会の由来とされています。

亡き人を偲ぶとともに、亡き人のおられる世界(浄土)を聞き開くための、大切な「仏法聴聞週間」とでもいふべきものが「お彼岸」です。煩惱で汚れ切ったこの時代に生きる私たちは、少なくともこのお彼岸の時期に、仏法聴聞に励んで、いよいよ「お浄土」への道を明らかにし歩ませただけことが大切です。私たちにとって本当に依りどころとなるものは何なのかということ、この彼岸会から学びたいものです。

彼岸中のお内仏には打敷をかけ、お華束を備え、お花も季節ものを花瓶に挿してください。

## 「教区改編」について

2016年10月に第4期「教区及び組の改編に関する中央委員会報告書」が中央改編委員会から内局に提出され、2023年までにこれまでの30教区を17教区にする改編試案が示され、長浜教区と京都教区が改編するという試案が示されました。その試案を基に教区改編委員会(地方協議会)において、両教区の教区会及び教区門徒会で議案として付議する「合議書」の作成をすすめておられます。既に教区内で説明会が開催されていますが、多岐にわたる様々な課題や問題点があり、「数値などを示して、具体的な新教区像を提示してほしい」との要望が出ています。

今後24組においても、説明会が持たれますので、重要な事案として受け止め、試案の内容を確かめていただきますようお願いいたします。

## 敬 弔

ご生前のご活躍のお姿を偲び哀悼の意を表します

円行寺前坊守

禿 弥生 様

(高月町西柳野)

2021年12月22日命終

福願う 心の裏に 鬼の顔